

## 有限群論と計算機

東大理 榎本彦 衛

この2,3年の間に新しい有限単純群が10個以上も見つかっています。それらのうちのいくつかについては、計算機が重要な役割を果たしています。特定の群を1つ決めれば、位数は有限なので、計算機が使えるのはもともたなわけですが、最近見つけた単純群の中には、位数が  $2^{22} \cdot 3^{16} \cdot 5^2 \cdot 7^3 \cdot 11 \cdot 13 \cdot 17 \cdot 23 \cdot 29$  などという大きなものもあるので、いろいろ工夫が必要となり、必ずしも簡単にはいきません。

### (1) Coset enumeration

群はその生成系と基本関係式を与えれば、一意に決まるわけですが、基本関係式が4つは構造は簡単にはわかりません。たとえば、その群が有限になるかどうか、特に位数がいくつになるかというこす簡単にはわかりません。しかし、生成系と基本関係式を与えたとき、その群の位数を求めるということは、原理的には機械的計算でできるといふことがわか

っています。つまり、位数および基本関係式がすでにわかっている比較的大きな部分群をと、ときどき、その部分群による剰余類の代表元をすべて見つけてこようというわけですが、すでに外国では、このプログラムができています。しく、Higmen-McKayの単純群(位数 $2^7 \cdot 3^5 \cdot 5 \cdot 17 \cdot 19$ )やHeldの単純群(位数 $2^{10} \cdot 3^3 \cdot 5^2 \cdot 7^3 \cdot 17$ )の存在証明は、今のところ計算機によるものだけのようです。この *coset enumeration* というのは、今まごにある剰余類に生成元をかけていくことにより、次々と新しい剰余類をつくらせいき、基本関係式を使って一致する剰余類を消していき、新しい剰余類がつかれなくなると、全部求まったことになりわけです。つまり、これらの剰余類による生成元の置換表現を同時につくらせいくわけですが、一般には剰余類の数(i.e. 部分群の指数)はかなり大きくなり、途中の段階では、余分な剰余類も覚えておかなくてはなりませんので、記憶容量なども問題になります。

## (2) character table の計算

character table というのは、有限群の最も基本的な量で、これがわかると、部分群についていろいろことができます。特に、部分群があると、その剰余類による置換表現ができるわけですが、その指標(i.e. 置換指標)にはいろいろの条件がつかるので、(例えば、置換指標というのは固定点の

数だから、非負整数になる e.t.c.) ある種の部分群が存在しない  
 ということだが、容易にいえることがあります。例えば、(1)  
 で述べた Higman-McKay の群の場合には、部分群の候補者を  
 しぼっていき、その中の 1 つから実際に拡大してみせたい  
 けです。(置換指標の候補者をしぼりつづしに調べることに  
 も計算機が使われています。)

character table を計算する一般的方法は見つかっていない  
 ので、case by case しか手がないわけですが、対称群のよ  
 うに機械的に計算する方法のわかっているものは、記憶容量  
 と計算速度が大きな問題で、現在では 26 次元までしか計算され  
 ているようです。一般には部分群からの誘導指標と呼ばれる  
 ものをたくさん作り、それらの内積を求めて、既約指標への  
 分解を決定し、逆に解いて既約指標を求めるということを  
 やるわけです。指標  $\varphi_i$  ( $i=1, \dots, n$ ) が与えられたとき、それ  
 らの既約指標  $\chi_k$  ( $k=1, \dots, r$ ) への分解を決定するというのは、  
 $(\varphi_i, \varphi_j) = a_{ij}$  とするとき、

$$\sum_{k=1}^r m_{ik} m_{jk} = a_{ij}$$

という方程式の非負整数解  $m_{ik}$  を、順序を除いて全部求め  
 ることで、このとき  $(\varphi_i, \chi_k) = m_{ik}$  となります。この計算をわ  
 けてくれるプログラムを作り出すこと自体はそんなに難しくな

と思います。指標の内積を計算してくれるプログラムは愛用  
 していますが、今のところは整数しか扱えません。Weyl群  
 (特に対称群)のように、指標がすべて整数のものにはこれ  
 で十分ですが、一般には円分体(有理数体に1の中根を添加  
 して拡大した体)での計算が必要になります。原理的には  
 拡大の基底をとっておけば、その係数は整数になりますから、  
 整数しか扱わなくてすむわけですが、それではすぐ記憶容量  
 が足りなくなるので、どうしようか悩んでいるところです。

なお、共役類と忠実な表現の指標を1つ与えると、character  
 tableを自動的に計算してくれるプログラムが、外国ではで  
 きているというのですが、一意的に決まるのかどうか、とか  
 どの程度の大きさの群に使えるのかというようなことは知  
 りません。